

栃木東中「東中だより」2月号



【学校教育目標】＜生きる力の育成＞

- よく考え、自ら学ぶ生徒
- 豊かな心と強い意志をもった生徒
- 健康で、自他の生命を大切にする生徒

【目指す学校像】＜経営の指針＞

竹のように、誰もが“いちずに天を目ざす”東筭学舎

【目指す生徒像】＜東筭の心得＞

- さわやかで、明るくあいさつができ、仲良く活動する。
- 忍耐強く、黙って清掃や作業に取り組む
- 目的をもって、いちずに学習・運動に励む
- 気品があり、場に応じた正しい言葉遣いができる。

平成27年 2月 2日 発行 文責：石嶋和夫

雪のように光り輝こう 大きな一歩を仲間と共に ～輝く未来は みんなの心の中にある～

2年生が、1月18日(日)～1月20日(火)の二泊三日で、福島県の猪苗代スキー場において、上記のスローガンの下、“立志スキー宿泊学習”を実施しました。

【主な日程】

1	8:00	東中出発(バス4台)
/	13:30～16:00	スキー学習(2時間半)
18	19:00～21:00	立志式(2時間)
1	9:00～11:30	スキー学習(2時間半)
/	13:30～16:00	スキー学習(2時間半)
19	19:00～21:00	立志記念活動(2時間)
1	9:00～11:30	スキー学習(2時間半)
/	16:15	東中到着
20	※	2年生にとって感動と感謝の二泊三日でした。

実行委員長：須田力哉君 解散式あいさつ

みなさん、3日間の立志スキー宿泊学習は、どうでしたか。良い思い出をつくることは、できたでしょうか。これまでのみなさんの協力のおかげで、素晴らしい立志スキー宿泊学習になったと思います。立志式で発表した「誓いの言葉」をこれから実行できるようにしましょう。

4月から僕たちは、3年生です。東中の顔となります。僕たち一人一人が、立派な3年生になれるように、今回の立志スキー宿泊学習で学んだことを、これからの生活にいかしていきたいと思います。

職場訪問 大変お世話になりました！

1月20日(火)と23日(金)の5・6校時・放課後を利用して、1年生が「職場訪問」を実施しました。これは“キャリア教育”の一環として、以下のことをねらいとしています。

- 1 職業についての調べ学習を通して、職業に対する興味・関心を高める。
- 2 実際に働く人々の姿を見たり、話を聞いたりすることを通して、働く意義について考え、職業についての具体的な知識・理解を深める。
- 3 職業に就いている方々に直接会って話を聞くための方法やマナーを学習する。

“キャリア教育”とは？

将来、社会人・職業人として自立していくために、必要かつ基盤となる能力・態度の育成を目指す教育です。

※ 目と耳と心で聴いて、しっかりとノートに記録しました。



ご多用中にもかかわらず、24もの事業所の皆様が、1年生の「職場訪問」のためにご協力くださいましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。皆様から懇切丁寧なご指導をいただき、生徒たちの意識と意欲が高まり、2年生で行う「職場体験」につながったように思います。今後とも、よろしくお願いいたします。

お世話になっている全ての方々に感謝して学校給食を

「給食週間」中の1月26日(月)に、給食委員会が“給食集会”を開きました。毎日、当たり前のように食べている給食が、実に多くの方々によって支えられていることを理解し、その方々に感謝しようというねらいです。

今回も昨年同様に、本校がお世話になっている「給食共同調理場」について、栃木第三小の学校栄養士：鈴木優希先生がお話ししてくださいました。

- 共同調理場では、三小と東中の約800人分の給食を、9人の調理員さんたちで作っています。
- また、約3080枚のお皿やトレイ、おはし、食缶、パン箱などを手洗いで、3回洗っています。
- 給食を支えてくださっている多くの人たちに感謝して、残さないように食べましょう。
- 残量を減らすために、あと一口多く食べましょう。
- 健康のため、欠食や偏食をせずに食べましょう。



※ 感謝と自立・自律の心が培われ、スキーも上達しました。

◎ 給食委員会による「給食O×クイズ」も行いました。

本校の教育活動をより一層改善・充実するために

平成26年度「学校評価（教職員による自己評価）」の集計結果がまとまりましたので、お知らせします。

この評価は、4段階評価で、4に近い数値ほど高評価です。

※太字は、今年度の重点施策です。また、()内は昨年度の数値です。

1 よく考え、自ら学ぶ生徒 (3. 28) 3. 24

(1) 基本的な学習態度を育成する。(3. 27) 3. 24

ア 「学習の約束」を徹底し、よりよい学習態度を定着させる

(3. 22) 3. 39

イ 予習・復習等の家庭学習を充実させ、望ましい学習習慣を身に付けさせる。(3. 19) 3. 00

ウ 「朝の読書」の徹底と山本有三作品の活用等により、読書指導や図書館利用を充実させる。(3. 41) 3. 32

(3. 34)

(2) 基礎的・基本的な内容の習得を図る。 3. 35

ア 授業のねらいや学習課題を明確に示すことにより、学習への意欲を高める。(3. 33) 3. 52

イ 教材研究を深め、指導の内容と方法を工夫して、「わかる授業」を推進する。(3. 44) 3. 26

ウ 事前・事中・事後の評価を適切に実施し、基礎的・基本的な内容の習得を図る。(3. 25) 3. 26

(3) 学び合う能力・態度の育成を目指して“言語活動の充実”を図る。(3. 34) 3. 24

ア 「学び合い」の場を設定したり、ICT機器の活用を図ったりするなど、授業を工夫する。(3. 42) 3. 25

イ 生徒理解を深め、個に応じた学習活動を展開することにより、「認めて、ほめて、励ます」指導を推進する。

(3. 50) 3. 43

ウ 問題解決的な学習や体験的な学習を推進し、思考力や表現力等を育成するとともに、コミュニケーション能力を養う。

(3. 11) 3. 04

(3. 18) 3. 09

(4) 「総合的な学習の時間」(東筈タイム)の充実を図る。

ア 探究的な内容構成の工夫や他教科等との関連を図ることにより、学び方やものの考え方を身に付けさせ、課題解決のための諸能力を育成する。(3. 07) 3. 04

イ 地域の調査や職場訪問・体験等の体験的な活動を実施し、それらを分析・まとめ・表現する学習活動を通して、課題に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てるとともに、**キャリア教育の目指す基礎的・汎用的能力を育成する。**

(3. 29) 3. 12

2 豊かな心と強い意志をもった生徒 (3. 27) 3. 39

(1) 基本的な生活習慣を育成する。(3. 30) 3. 34

ア あいさつの励行や時間の厳守等の徹底を図ることにより、自律的に行動しようとする態度を育成する。

(3. 43) 3. 56

イ 校内のあらゆる場面での言語環境を整え、その場での指導を徹底することにより、場に応じた正しい言葉遣いができるようにする。(3. 18) 3. 12

(2) 自律の精神と思いやりの心を育てる。

(3. 34) 3. 42

ア **心の教育の要である「道徳の時間」を充実させ、運動会・東中祭・宿泊を伴う行事等との関連を図ることにより、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度を養い、道徳の実践力を育成する。**(3. 33) 3. 31

イ 人権教育の観点から本校の教育活動を見直し、改善・充実を図ることにより、**生徒が互いの「よさ」を認め合い、良好な人間関係が築けるようにする。**(3. 27) 3. 49

ウ 「無言清掃」を徹底することにより、「我慢・自制・気づき・思いやり」の四つの心を育成する。(3. 39) 3. 50

(3) 自主的・実践的な活動を支援する。(3. 19) 3. 40

ア 生徒会活動の組織運営や活動内容を充実させ、「中央議会の活性化」及び「委員会活動の日常化」、さらに「リーダーの養成」を図ることにより、生徒が自らよりよい学校生活づくりに取り組もうとする自主的、実践的な態度を育成する。

(3. 19) 3. 36

イ **「学級活動」「道徳の時間」を充実させるとともに、「学級経営」に力を入れることにより、学年・学級の一員としての自覚を高め、よりよい集団づくりに参画しようとする態度や健全な生活態度を育成する。**(3. 19) 3. 29

ウ 「先施の心」で生徒に接し、「率先垂範」「師弟同行」に努めることにより、生徒と教職員との信頼関係を強化し、生徒が自ら「生徒心得」を自覚して規律ある学校生活を送ろうとする態度をはぐくむ。(3. 19) 3. 54

3 健康で自他の生命を大切にする生徒 (3. 33) 3. 48

(1) 健康な体づくりと体力の向上に努める。

(3. 27) 3. 46

ア 保健や学級活動「適応と成長及び健康安全」の授業及び「保健だより」等の啓発活動により、生徒や家庭の健康管理と環境衛生に関する意識を高める。(3. 25) 3. 50

イ 栃三小の学校栄養士と連携し、「給食だより」「究食新聞」による啓発活動や給食委員会の活動を通して、給食の衛生管理を徹底するとともに、食育を推進する。

(3. 11) 3. 16

ウ **体育の授業や運動部活動を充実させることにより、運動に親しみ、体力向上や健康維持に対する自覚を高める**

(3. 32) 3. 72

(2) 自他の生命を尊重する心を育てる。(3. 43) 3. 50

ア 教科指導はもとより、あらゆる教育活動において、目的と目標を明確にして指導・支援を充実させ、自他の生命を尊重する心を育てる。(3. 41) 3. 49

イ 登下校時はもちろん、学年・学級の活動や部活動等において、交通指導及び防犯・防災指導を徹底し、交通事故をはじめ各種の事故防止に万全を期す。(3. 43) 3. 60

ウ 事前調査(アンケート)の結果を生かし、学期1回の「教育相談」を充実させることにより、生徒の悩みや不満、不安に迅速かつ適切に対応できるようにする。

(3. 46) 3. 43

※ PDCAサイクルが機能するよう、上記の評価を行っています。

“給食に関する標語” ※各クラスの代表作です。

1年1組	高橋 直己 君	給食は 人と人との 交流の場
1年2組	高森 星南さん	世界ー！ 愛情たっぷり 東中給食
1年3組	務川 萌衣さん	給食残さず食べて 元気いっぱい 東中生
2年1組	阿部 君城 君	いただきょう 動物の命と 作ってくれた人の心
2年2組	安生 桃花さん	感謝しよう 「いただきます」は そのカタチ
2年3組	関口 悠太 君	残さずに 食べよう給食 力になる
2年4組	加藤 拓丸 君	給食を モリモリ食べて 元気モリモリ
3年1組	早乙女恵美さん	思いやり 残さず食べる その気持ち
3年2組	稲村 理子さん	野菜を 残さず食べて 栄養満点
3年3組	大野 笑奈さん	一回一回噛みしめよう 命を繋ぐ ありがたさ

